

Vision2025

地域連携体制の強化・デジタル改革・経営基盤の安定化を実現し、未来につなげる地域共生社会をつくる

D 中期事業計画 2021-2025 における 聖隷福祉事業団と SDGs の関わり

事業 組織 運営 財務

A 5年後、聖隷福祉事業団はこうなっている	B 重要課題	C テーマ
<p>事業</p> <p>質の高い事業を行う</p> <p>地域共生社会の実現に貢献する社会福祉法人として、地域を支える新たな仕事を見出し、また先進的な医療の提供、健康寿命の延伸に向けた予防への関与やゲノムなど最先端の課題に挑戦し、最高の質を追求した事業を展開している。</p> 	<p>1 社会福祉法人として最高の質を追求した事業を展開する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生社会の実現に貢献する社会福祉法人として、地域を支える新たな仕事を見出し挑戦する 先進的な医療の提供、健康寿命の延伸に向けた予防への関与やゲノムなど最先端の課題に挑戦する
<p>組織</p> <p>組織力を活かす</p> <p>地域課題の解決に繋がる事業部門連携や聖隷の質と規模を維持する人材の確保ができています。大規模広域法人に適した購入や物流、情報システムを構築し、大規模災害に対する連携の強化等、より一層の協働した組織となっている。</p> 	<p>2 地域ごとの課題解決に繋がる事業部門の連携を構築する</p> <p>3 人材の確保と育成を推進する</p> <p>4 大規模広域法人としての強みを活かした仕組化を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業部を越えた職員間で情報交換しやすい環境、検討する場を設ける等、地域ごとで事業部門が連携し、利便性の向上や課題解決に繋がる仕組みを構築する 生産年齢人口が減少する中、需要拡大が見込まれる聖隷の事業を支える人材確保を図る<small>(※1)</small> 聖隷の質を体現・継承できる「聖隷人」の育成を推進する<small>※1 聖隷人（せいれいびと）</small> 基本理念および使命を理解し、職員行動指針を実践している人 大規模広域法人としてのメリットを活かし、人事・資材・資金・情報システムなどの一層の効率性を追求する 広域な大規模災害に対するBCP（Business Continuity Plan: 事業継続計画）対応と連携を強化する
<p>運営</p> <p>生産性の高い運営体制を築く</p> <p>ICT・AI・ロボット等を活用し、少人数であっても質の高いサービスを提供できる効率性の高い業務体制を構築している。外国出身者、高齢者、障がい者等を含んだダイバーシティが進み、働きがいのある仕事を推進している。</p> 	<p>5 聖隷DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する<small>(※2)</small></p> <p>6 ディーセント・ワーク（人生と両立できる働きがいのある仕事）を推進する<small>(※3)</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ICT、AI、ロボット等を活用して少人数であっても質の高いサービスを提供できる、効率性の高い業務体制を追求する 事業部を越えた利用者情報の共有ネットワークシステムの整備、データヘルスサービスなど医療・介護・健康分野の情報化を推進する 健康経営の推進、働き方改革等の制度へ対応するとともに、外国出身者、高齢者、障がい者等を含んだダイバーシティを推進する
<p>財務</p> <p>財務体質を強化する</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経営環境を学びにし、需要減少時でも安定する経営構造を構築している。また、予期せぬ経営環境の急変にも揺るがない骨太の財務体質となっている。</p> 	<p>7 現有資源を有効に活用し経営環境の急変にも揺るがない財務体質とする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成長性：サービス活動収益の成長率 前年比 2%以上 収益性：税引前当期活動増減差額 年 15 億円以上 効率性：総資産に対し税引前当期活動増減差額率（ROA）年 1%以上 安定性：純資産比率 45%以上（2025 年度末）

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>事 生活困窮者支援などが当たります。</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>事 災害時の食事提供や健康寿命延伸に向けた栄養指導などが当たります。組 災害時にも安心して食事の提供ができる体制が必要です。BCP（Business Continuity Plan: 事業継続計画）策定など準備を進めます。</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>事 新たなニーズや制度の狭間など支援が届いていない方への支援、より質の高い医療福祉の提供を目指します。</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>事 健康、介護予防教育や生活困窮の負の連鎖に対する教育支援などが当たります。組 優秀な人材の確保、育成は事業の質を維持するうえで極めて重要です。今後も人材育成に注力します。</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>組 育児支援など女性が働きやすい職場をつくと共に女性の経営職の増加を目指します。運 職員へより良い雇用環境の提供、障がい者や外国人雇用の推進などにより、組織の成長に繋げていきます。</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>財 エネルギー使用量を削減する取り組みを継続します。</p>
<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>運 職員へのより良い雇用環境の提供、障がい者や外国人雇用の推進などにより、組織の成長に繋げていきます。財 地域に必要な事業は行わねばなりません。法人として健全な成長を目指します。</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>運 医療福祉の領域でのDXをはじめとした情報化やロボットなど自動化を推進し、生産性の向上と新たな価値創造に繋げて強みにしていきます。財 強靱で、より持続可能な施設設備を維持する管理を推進します。またDXやロボットなど先進的な技術の導入を推進します。</p>
<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>運 地域共生社会の実現を先導する組織として、内部でも年齢、性別、障がい、外国人などに関わらず活躍できるダイバーシティを推進します。</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>事 住み続けられるまちづくりは地域共生社会の理念と同一であり、地域包括ケアシステムなどを用いて社会福祉法人に求められています。</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>組 環境への影響を配慮された物品の使用や電気ガス等の効率的な使用が求められます。財 将来にわたり社会を支えていける様に、事業の持続性を確立します。</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>組 台風や大雨の激甚化など温暖化による大規模災害が増加していますので、災害に対する準備が一層必要になります。</p>
<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>事 子ども達により良い環境を提供することも私たちの大切な事業となります。</p>
<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>組 各所との連携体制の構築は最も重要なテーマの一つです。内部の連携強化と共に、外部組織とも連携を強めていきます。</p>

※ 2 デジタル・トランスフォーメーション（DX）…データとデジタル技術を活用して、サービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務や、組織、プロセス、企業文化を変革し、競争上の優位性を確立すること。
 ※ 3 ディーセント・ワーク…SDGsの目標8に記載されている「働きがいのある人間らしい仕事」のこと。権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事とされている。中期事業計画 2021-2025 ではライフコースやワークライフバランスに配慮した「人生と両立できる働きがいのある仕事」と定義する。